

淋菌感染症発生状況（2020年）【さいたま市感染症発生動向調査】

2020年の定点当たり累積報告数は7.90であり、前年(10.00)から減少したが、埼玉県(6.55)に比べ多かった。2018年及び2019年においても、同様の傾向がみられた(表1及び図1)。性別では、男性に多い傾向がみられた(約90%、図2)。年齢階級別では、男性、女性ともに20歳代の年齢層で最も多くの報告があった(図3)。

表1 淋菌感染症定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	11.50	10.00	7.90
埼玉県	8.74	7.16	6.55
全国	8.26	8.35	8.64

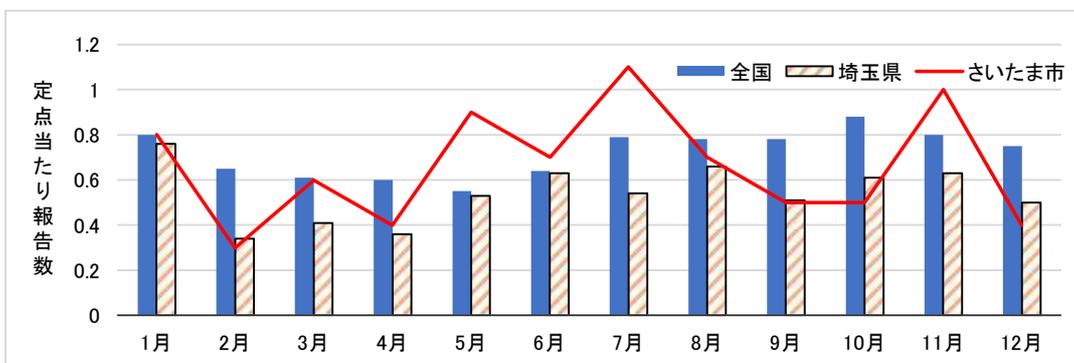


図1 淋菌感染症定点当たり報告数

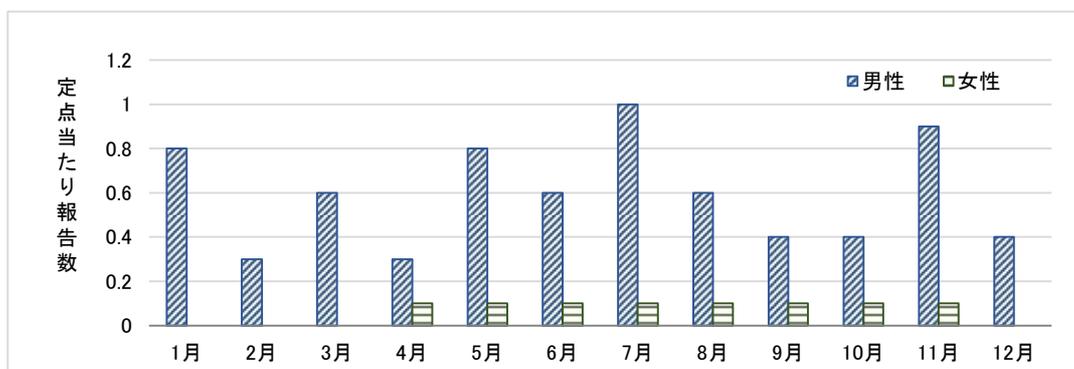


図2 淋菌感染症性別定点当たり報告数

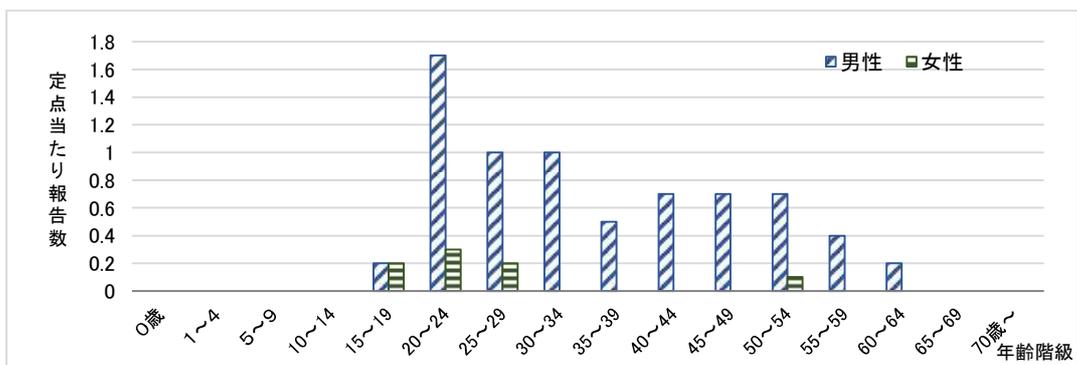


図3 淋菌感染症性別年齢階級別定点当たり報告数